

竹下景子 音楽朗読劇

音楽と語りのオオカミとヤギの物語

あらしのよるに

～ガブとメイ 思い出のあしあと～

第1部

音楽朗読劇

朗 読 / 竹下景子
演 奏 / Raindrops

Vn. 三国富美子、Pf. 伊藤恵子、Bass. 片野真吾、Perc. 本間修治

第2部

ミニコンサート&スペシャル対談会

～Raindropsによるミニコンサート～

映画「ラ・ラ・ランド」より「Another day of sun」他

～きむらゆういちと出演者「あらしのよるに」を語る!～

原作者とともに貴重な制作秘話を語ります。

原作・作詞 / きむらゆういち
美術・舞台監督 / 首藤美恵

朗読台本・演出 / 遠藤吉博
照明 / 柴田貴元 (グループ)

音楽監督・作曲 / 片野真吾
音響 / 林友美 (株) モウブ

2020年 **10月31日(土)** 開場/12:45 開演/13:30
長岡リリックホール・シアター

全席指定 **¥ 3,000**

※4歳から入場できます。
※車椅子席をご希望の方は、長岡リリックホールでお求めください。

チケット一般発売: 8月30日(日)

リリック友の会優先予約 8月27日(木) 10:00～18:00
※電話予約のみ 長岡リリックホール TEL:0258-29-7715
長岡市立劇場 TEL:0258-33-2211

【プレイガイド】長岡リリックホール
長岡市立劇場

主催・お問い合わせ / (公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内) TEL.0258-29-7715



長岡リリックホール
Nagaoka Lyric Hall

竹下景子 音楽朗読劇

音楽と語りのオオカミとヤギの物語

あらしのよるに

～ガブとメイ 思い出のあしあと～

あらすじ

ある嵐のよる、避難した真っ暗な小屋の中で声を掛け合ったメイとガブ、お互いの正体がわからないまま「あらしのよるに」を合言葉に再会を約束。気の合ったメイとガブだったが、二匹はヤギとオオカミ “食われるものと食うもの”。“秘密の友達”はやがてそれぞれの仲間の知るところとなり、二匹はオオカミの群れから追われることになる。

雪山に登る満月を眺めつつ

メイ『ねえ、私たち、これからずっとずっと一緒だよ？』

ガブ『ずっと、ずっと、一緒にやんすよ！』

と誓いあい、安住の地を目指してその雪山を超える覚悟をするのだが……。

愛され続けて26年、大人も子供も感動したオオカミとヤギの物語。

出演者プロフィール



きむらゆういち (絵本・童話作家)

東京都生まれ。多摩美術大学卒業。造形教育の指導、テレビ幼児番組のプランなどを経て、現在、絵本・童話の創作、戯曲、コミックの原作など広く活躍している。著書は650冊を超え、数々のロングセラーは国内外の子どもたちに読み継がれている。

「あらしのよるに」(講談社)で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童文化賞JR賞受賞。同舞台脚本で斎田喬戯曲賞受賞。同作品の映画化にて、脚本を担当。

●2005年公開、東宝アニメーション映画「あらしのよるに」●2007年「日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞」受賞。●2009年「オオカミのおうさま(偕成社、絵・田島征三) 第15回日本絵本賞受賞。2012年テレビ東京にてテレビアニメ化。●2015年に京都で歌舞伎化、翌2016年には歌舞伎座で再演。2018年博多座にて再演となる。●2019年「あらしのよるに」25周年。

作品に、「あかちゃんのおそびえほんシリーズ1～14」(偕成社)、「あらしのよるに」、「風切つ翼」「よーするに医学絵本」シリーズ(講談社)、「オオカミのおうさま」(偕成社)、「どうするどうするあなのなか」(絵・高島純/福音館書店)など著作は国内で650冊以上。海外で250冊以上。ゆうゆう絵本講座主宰。東京純心大学客員教授。



竹下景子

愛知県名古屋市出身。東京女子大学文理学部社会学科卒業。NHK「中学生群像」出演を経て、1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。映画「男はつらいよ」のマドンナ役を3度務め、「学校」では第17回日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。

また、2007年に舞台「朝焼けのマンハッタン」「海と日傘」で第42回紀伊國屋演劇賞個人賞、2015年に第66回日本放送協会放送文化賞を受賞。現在は、NHKラジオ第1「新日曜名作座」や、ラジオ大阪「司馬遼太郎短編集作選」にレギュラー出演中。ラジオ・テレビ・舞台への出演のほか、2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長をはじめ、国連WFP協会親善大使、京都国立博物館文化大使、日本モンキーセンター親善大使など幅広く活動している。

オフィシャルウェブサイト <http://www.takeshitakeiko.net/>

演奏者プロフィール(Raindrops)



三国富美子 (Violin)

東京音楽大学卒業。1997年-2017年ソリスト及び室内楽、オーケストラの一員として国内外(ドイツ、中国、韓国)にて活動。他、舞台音楽やCD制作録音等で演奏。アマランス弦楽四重奏第一Vn奏者としてオーストリアにて室内楽マスタークラスを受講、主に東京都内の小中学校及び病院にてアウトリーチコンサートを行う。2014年5月より渡仏、現在はオリヴィエ・シャルリエ氏のもと研鑽を積む。ヴェルサイユ市在住。



伊藤恵子 (Piano)

国立音楽大学器楽科卒業後、ピアニスト・アコーディオニスト・リトミック/ピアノ講師として活動。これまでに客船飛鳥II、ふじ丸、ばしふいっくびいなす、美術館、病院、保育園、小・中学校、舞台、医学学会などで演奏。クラシックからジャズ、ミュージット、タンゴ、中国楽曲など民族音楽まで幅広いレパートリーを持ち、その多彩な音色による情感溢れる演奏は各方面で好評を得ている。



片野真吾 (Bass)

米国Berklee音楽大学へ留学し作曲編曲を学ぶ。優秀賞を受け卒業し帰国。

「音楽は心」をコンセプトに作編曲家・歌唱指導者・ベース奏者として活動。日本音楽著作権協会信託者。

ミュージカルをはじめ多くの舞台音楽を手掛ける。また愛・地球博「千葉県の日」、「2005千葉きらめき総体」総合開会式などのイベント音楽やCM音楽も手掛ける。



本間修治 (Percussion)

米国ハリウッドのMusicians Institute Of Technologyにてドラム・パーカッションを学ぶ。

帰国後はライブやコンサート、レコーディングなど演奏活動のほか、音源制作、楽曲提供も並行して行っている。

サポートでコニー(ex ピーナズ)、ピリーパンパン、堀六平、アントニオ古賀、門倉有希、露崎春女、真島秀樹、横山知枝、ベンEキング、ジョーコールマン(ブラターズ)など。

■お知らせ

・長岡リリックホール及び長岡市立劇場では、チケットの窓口販売のほか、郵送(有料)によるチケット販売も承ります。

■以下のことをご了承のうえ、チケットをお買い求めください。

- ・3歳以下のお子様はご入場いただけません。4歳以上の方はチケットが必要です。
- ・ソーシャルディスタンスを保つため、空席を設けた配席を行う場合があります。
- ・ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。

■長岡リリックホールへの交通のご案内

●路線バス(JR長岡駅大手口)のご案内

- ・8番線から「中央循環バス」で、〈内回り/県立近代美術館、外回り/ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「《日赤病院経由》江陽団地行きバス」で〈ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「江陽環状線バス」で、〈大手大橋先回り/ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「《日赤病院経由》出雲崎行きバス」で、〈県立近代美術館)バス停下車徒歩3分

●自家用車

- ・関越・北陸自動車道「長岡インターチェンジ」から車で約10分

